

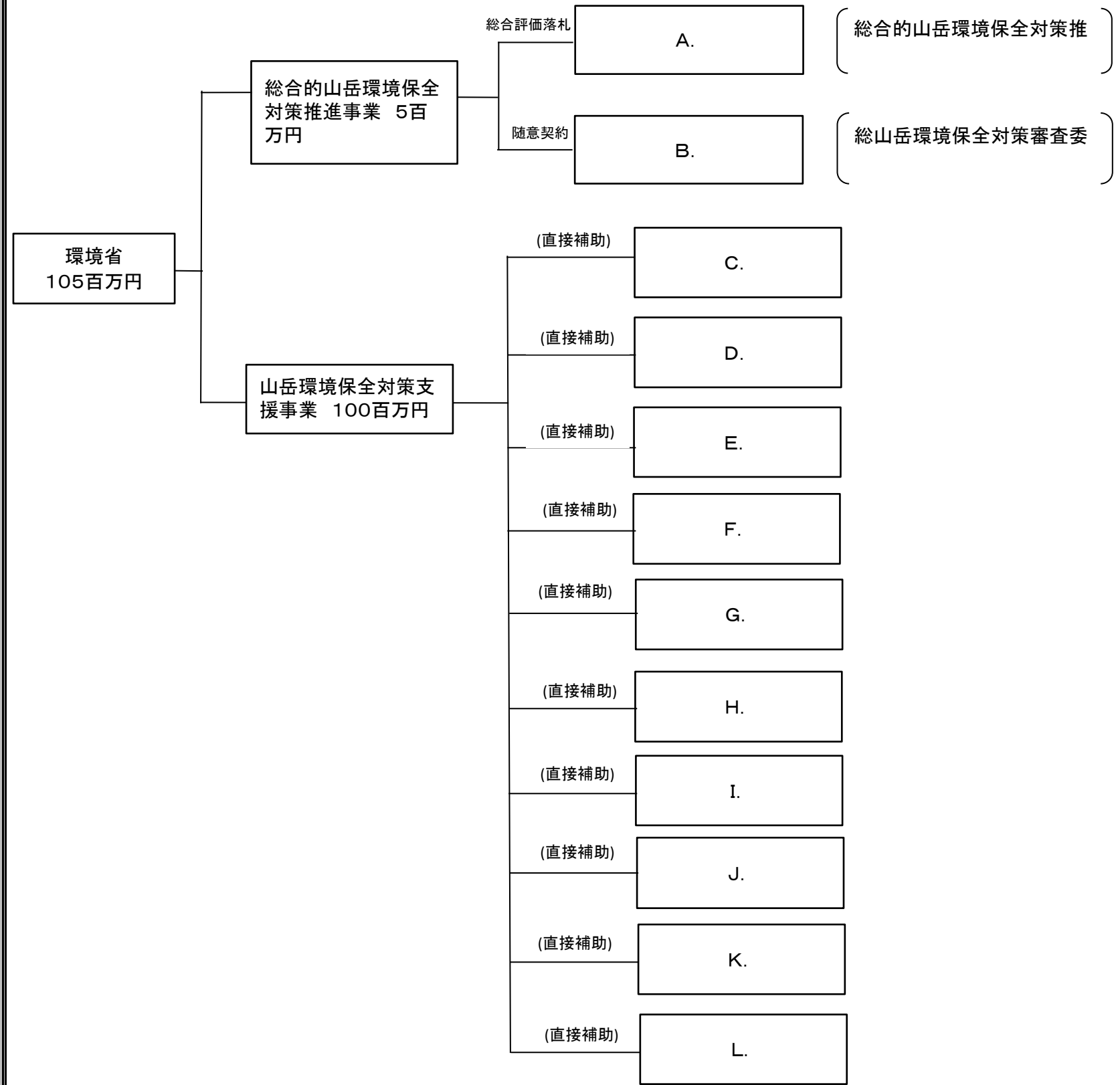
平成25年行政事業レビューシート

(環境省)

事業名	山岳環境保全対策事業		担当部局庁	自然環境局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度～		担当課室	国立公園課		課長 鳥居 敏男		
会計区分	一般会計		政策・施策名	5. 生物多様性の保全と自然との共生の推進 5-2 自然環境の保全・再生				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生物多様性国家戦略2012</li> <li>・山岳環境保全対策支援事業費補助金交付要綱</li> <li>・山岳環境保全対策支援事業実施要領</li> </ul>				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	<p>国立公園等の山岳地域における登山シーズンに集中した利用によりもたらされた荒廃や劣化及び3K(汚い、臭い、暗い)によるイメージダウンを早期改善することにより、国立公園等をより魅力あるものとするとともに、観光地域として再生・活性化することを目的とする。</p>							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<p>国立公園等内の一定の山岳を対象として、登山道やトイレ、山小屋などの施設についての維持管理・整備・利用の水準や方針、訪日外国人旅行者の増大に向けた取組などを含む幅広い観点からの山岳自然環境保全計画を策定し、具体的な取組を推進する。</p> <p>また、平成25年度から8年間で集中的・計画的にし尿処理施設等の整備を図ることとし、公共の補完的役割を山小屋等が担う場合に限定して、山小屋等が公共的機能を発揮するために必要な環境保全施設の新設、増設を行う場合に、国は原則としてその事業経費の1/2を補助する。</p>							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算	-	-	-	105	103	
		繰越し等	-	-	-	0		
		計	-	-	-	105	103	
	執行額	-	-	-				
	執行率 (%)	-	-	-				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		成果実績	単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (25年度)
	国立公園等の荒廃や劣化を、観光地域として再生・活性化することを目的としており、定量的な目標は設定できない。			-	-	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		活動実績 (当初見込み)	単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	山岳環境保全のためのし尿処理施設等の整備			-	-	-	-	-
単位当たりコスト	国立公園等の荒廃や劣化を、観光地域として再生・活性化することを目的としており、事業実施地域により状況が異なるため、単位あたりのコストで示すことはなじまない。		算出根拠	-				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	環境保全調査費	4.6	3					
	環境保全施設整備費補助金	100	100					
計	104.6	103						

事業所管部局による点検					
	項目		評価	評価に関する説明	
国 必 費 投 入 の 性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	国立公園等は、日本の優れた自然の風景を保護し国民の保健休養教化に資する重要な地域であり、国立公園等の山岳地域における荒廃、劣化を改善する目的で実施している当該事業は、国民のニーズがあり優先度が高い。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○		
事 業 の 効 率 性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	山岳環境保全対策支援事業費補助金交付要綱及び山岳環境保全対策支援事業実施要領に基づき、有識者で構成される山岳環境保全対策審査委員会により支出先を選定しているほか、用途について補助金の金額の確定時に請求書及びその内訳の提出を求める等行い、真に必要なものに限定している。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		—		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—		
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—		
事 業 の 有 効 性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	地域協議会の推薦を受けた公共的機能(公衆トイレの役割)を有する民間の山小屋事業者等を対象として、環境配慮型排水・し尿処理施設の整備等が着実に進められ、登山者に利用されている。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○		
重 複 排 除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—	—	
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
	—	—	—		
点 検 結 果	山岳環境保全対策支援事業の事業採択に当たっては、国立公園・国定公園内の民間山小屋の公共的機能(公衆トイレの代替)を有するものを対象に限定し、受益者負担の明確化、山域ごとに設けた地域協議会における山岳環境保全と登山利用に係る議論の実施、第三者委員会による手続きの透明化を図るとともに、支出先及び用途については、「山岳環境保全対策支援事業費補助金交付要綱」や「山岳環境保全対策支援事業実施要領」に基づき、補助金の金額の確定時に領収書等の提出を求める等、適切に把握を行った。また、総合的山岳環境保全対策推進に係る検討会を開催し、山岳環境を保全するためのガイドラインについて検討を行っており、引き続き国の責任において事業を進めていくことが必要である。				
	外部有識者の所見				
行政事業レビュー推進チームの所見					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年	—	平成23年	—	平成24年	新25追加-007

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
行っているかについて  
補足する)  
(単位: 百万円)